

第51期（2025年4月期）第1四半期
決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2024年9月13日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

決算の概要

| (百万円) | 第50期 | 第51期 | 対前年 | 主な増減コメント |
|-------------------|------------------|--------------------------------|--------|--|
| 売上高 | 9,627 | 5,748 | △3,879 | 中国は、経済停滞及びRF規制混乱が影響。 売上構成は、美容機器86%・化粧品12%・その他2% |
| 売上総利益 (売上総利益率) | 6,037 (62.7%) | 3,408 (59.2%) | △2,628 | 売上総利益率は、円安による仕入コスト上昇の影響で下落。 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,363 | 3,214 | △1,148 | 国内広告宣伝費投資はより効率重視。 人件費は増加するものの、他コスト抑制。 |
| 営業利益 (営業利益率) | 1,674 (17.4%) | 194 (3.3%) | △1,480 | 営業利益は、黒字を維持。 |
| 経常利益 | 1,816 | 15 | △1,800 | 前期末から円高傾向が続き、為替差損を計上。 |
| 四半期純損益 | 1,142 | △84 | △1,227 | |
| 1株当たり四半期純利益(円) | 20.77 | △1.54 | △22.31 | |

海外は、中国国内の経済停滞や、RF規制による市場の混乱などの影響により、減益。国内は、銀座旗艦店や家電量販店向けの売上が増加。新カテゴリであるヘアケアも売上に寄与。一方、直販部門のリピート施策について、未だ投資が先行。

| (百万円) | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|-------|-------|--------------|--------|--------|------------|--------|
| | 50期 | 51期 | 対前年 | 50期 | 51期 | 対前年 |
| 通販部門 | 1,104 | 1,133 | +29 | 347 | 300 | △46 |
| 店販部門 | 1,719 | 1,972 | +253 | 403 | 457 | +54 |
| 直販部門 | 2,109 | 1,650 | △458 | 736 | 421 | △315 |
| 海外部門 | 4,648 | 943 | △3,704 | 2,025 | 273 | △1,752 |
| その他 | 46 | 47 | +0 | 32 | 34 | +2 |
| 調整額※ | — | — | — | △1,870 | △1,293 | +577 |
| 合計 | 9,627 | 5,748 | △3,879 | 1,674 | 194 | △1,480 |

(百万円)

| | 24年 4月末 | 24年 7月末 | 増減 | | 24年 4月末 | 24年 7月末 | 増減 |
|---------------|---------------|-----------------------------|--------------|------------|------------|---------------|--------|
| 流動資産 | 26,016 | 25,783 | △232 | 負債 | 3,976 | 4,090 | +114 |
| 現預金 | 16,605 | 16,722 | +117 | 仕入債務 | 782 | 864 | +81 |
| 売掛債権 貸倒引当金 | 4,834 △980 | 4,691 △760 | △142 +220 | 有利子負債 | 729 | 569 | △159 |
| 棚卸資産 | 4,056 | 4,128 | +72 | | | | |
| 固定資産 | 3,073 | 3,081 | +7 | 純資産 | 25,113 | 24,774 | △339 |
| 総資産 | 29,090 | 28,865 | △224 | 負債 純資産 | 29,090 | 28,865 | △224 |
| | | | | 自己資本 比率 | 86.3% | 85.8% | △0.5pt |

中期経営計画・中期投資計画 の進捗について

美容機器メーカーとして、 日本発の「グローバルブランド・カンパニー」へ

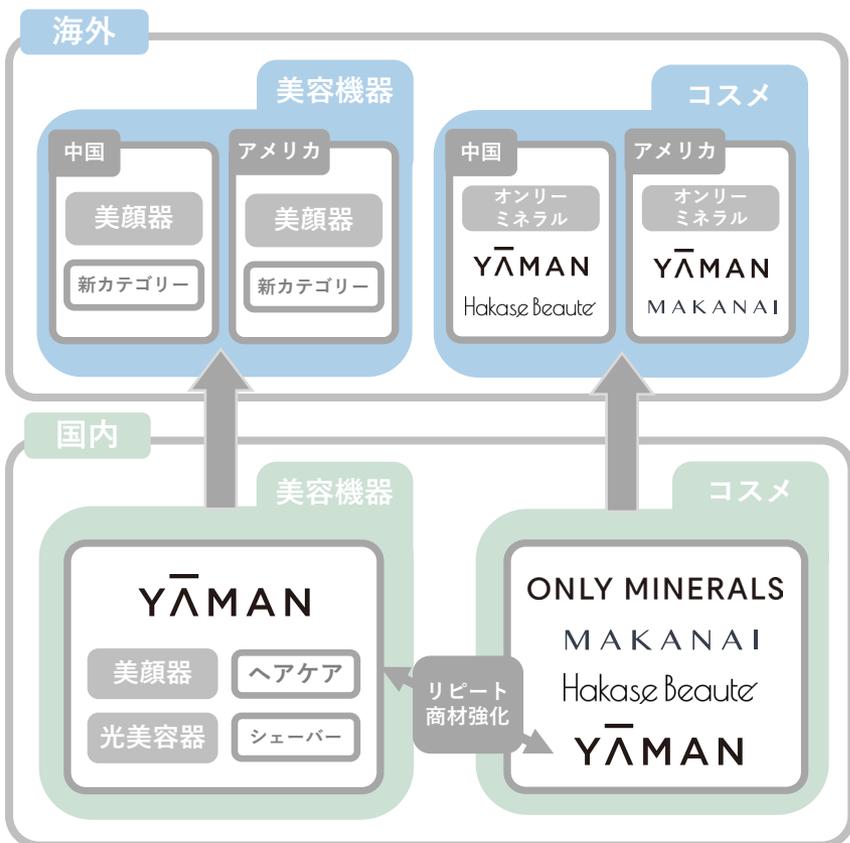
目標達成のための成長投資



中期投資計画

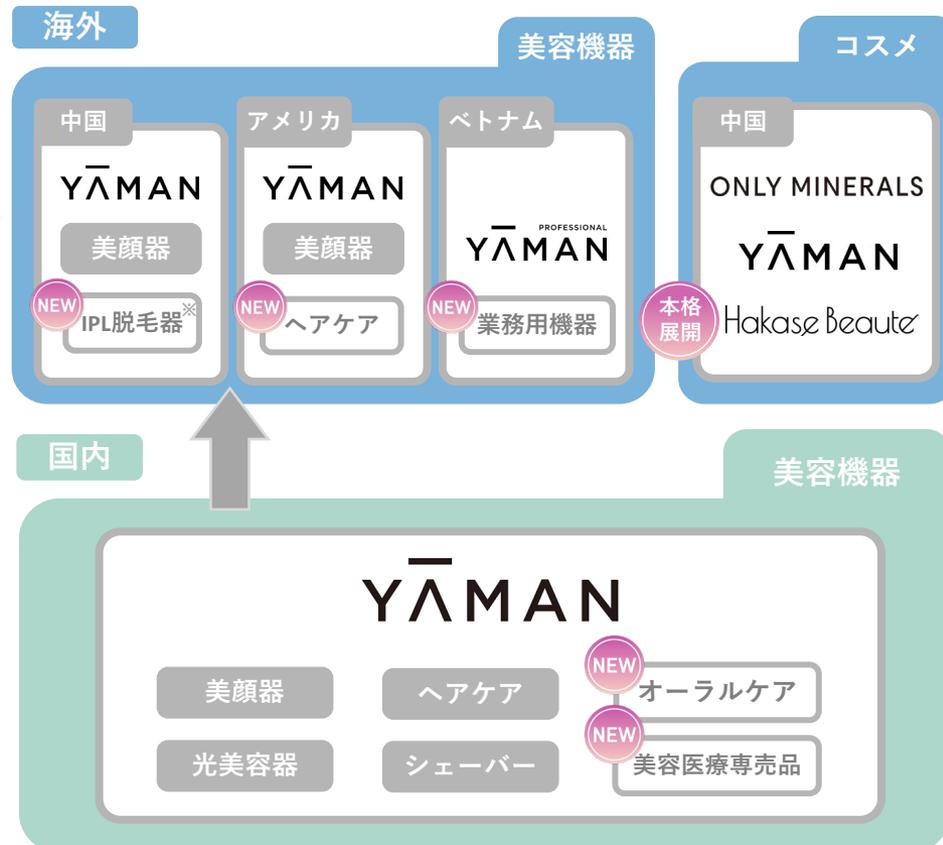
新カテゴリーはまず国内へ展開後、海外へ順次展開を強化していく。

特に新カテゴリーであるヘアケア・シェーバーについては、育成ブランドとして注力していく。



当期の進捗

2024年7月に、ベトナムで、サロン向けの業務用フェイシャルマシン『クイーンリフト for Pro クリアプラス』を導入。中国ではIPL脱毛器※の発売開始、HAKASE BEAUTEの本格展開を開始。アメリカでは、FDA認可取得したメディリフトプラスの販売も強化していく。



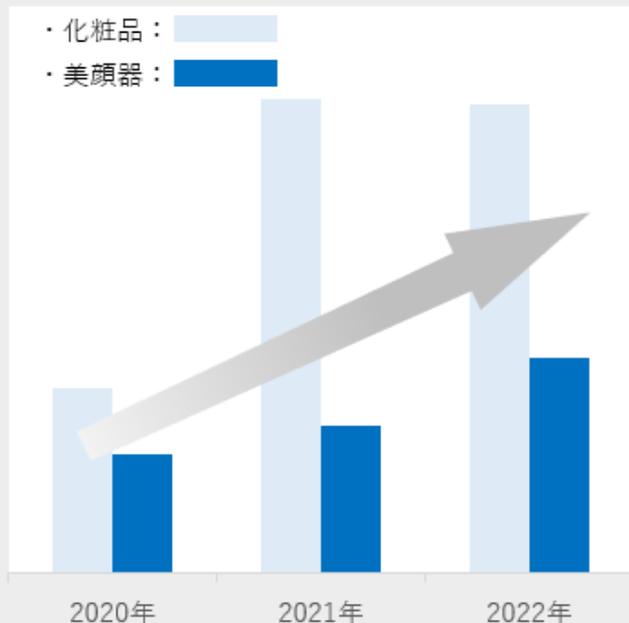
中期投資計画

美容機器の性能をより向上させる当社オリジナルの機能性化粧品の拡充を図り、リピート商材販売の基盤を構築していく。

当期の進捗

- ✓ デザインリフト
電極パッドリピートビジネスモデル
定期顧客の売上が、順調に増加

■ 中国市場における美顔器と化粧品の出荷数



- ✓ デザインリフトモア 8/1発売



中期投資計画

大学との共同研究により、当社製品の具体的な有効性と安全性を検証するほか、今後の製品開発につながる独自のメカニズムの解明を目指す。

研究により得られた結果は、論文発表などを通じて美容技術開発に還元し、美容機器業界のさらなる発展につなげる。

表情筋研究所



産学連携



当期の進捗

当社研究拠点「表情筋研究所」と東京大学との共同研究の推進と成果

- ✓ 確かな美容技術の確立と立証
共同研究「CERTEC (Cell Energy Regeneration Technology) を搭載するデバイスを用いてその効果検証をする研究」に関する論文を、アメリカの学術研究誌「Journal of Cosmetic Dermatology」に公開



中期投資計画

美容医療

美容医療の市場規模(医療施設収入高ベース)は、約4,000億円規模に達しており、今後も拡大基調で推移する見通しの有望な新カテゴリー。

美容皮膚科等の医療機関内で使用する「医療機器」に加え、医療機関専売の家庭用美容機器や化粧品の販売も視野に入れる。

美容系クリニックは

全国で約**6,000**院

美容皮膚科 約4,500院

美容外科 約1,500院



オーラルケア

口腔洗浄器を皮切りに、国内・海外ともに伸長しているオーラルケアのカテゴリーに進出。

国内では歯科医院ルートを開拓し、製品ラインナップを強化する。国内での販売実績をもとに、グローバル展開を目指す。

口腔洗浄器：ジェットフロス



直販・新聞
EC・インフォ

家電量販店
デンタルケアコーナー

通販卸
TV通販

歯科

当期の進捗

美容医療

- ・医療機関向け製品第1弾
「**ハイドラブライトスキン**」を発売開始。

医療機関の販路開拓、製品開発のため
医師とコンサル契約。美容医療機器の
開発着手。

オーラルケア

- ・口腔洗浄器「**ジェットフロス**」
発売開始

全国家電量販店開拓約700店舗に展開
歯科ルートでの販売チャンネルにて展開
開始

ヘアケア

- ・ヘアケアの新習慣「**夜アイロン**」を
提案する『**ナイトリペアアイロン**』
発売開始

中期投資計画

「表情筋研究所」で培った技術や新製品をフェイス・リフト・ジムから発信し、得られた顧客データを蓄積してフィードバックすることにより、さらに技術を進化させる。

2023年中に都内に出店予定のヤーマン初の大型フラッグシップストアにも併設の計画。



当期の進捗

2023年11月に、東京・銀座に旗艦店「YA-MAN the store GINZA」オープン。

銀座旗艦店にてリフトケア講座開始



表情筋研究所

フェイス・
リフト・ジム



中期投資計画

家庭用医療機器・薬事認証取得

【中国】

家庭用医療機器として販売できるようNMPAの認証登録を推進する。

【アメリカ】

美顔器でのFDAの認証登録を推進する。

中国・アメリカ子会社の投資強化

【中国】

ヤーマンのブランド力を活かしたライブコマースなどによる販売を引き続き強化し、新カテゴリーの展開にも取り組む。

【アメリカ】

FDA認証製品・家庭用美容機器を積極的に展開し、欧米市場でのブランド認知度向上を目指す。



当期の進捗

医療機器認証取得

【中国】

- ✓ 2024年4月IPL脱毛器※NMPA認可取得。
2024年6月販売※本製品は日本国内では販売しておりません。

【アメリカ】

- ✓ 次期美顔器申請準備中。

グローバル投資強化

【香港】

- ✓ 2024年6月に複合商業施設「K11 MUSEA」にブランドストアをオープン

【ベトナム】

- ✓ 2024年7月に、サロン向けに業務用フェイシャルマシン『クイーンリフト for Pro クリアプラス』を導入開始

【アメリカ】

- ✓ 2024年7月に、ラスベガスで展示会「Cosmoprof」に出店

業績及び配当予想

2024年6月14日公表から、変更はありません。

売上高は、350億円で対前期30億円増収の見込み。
営業利益も、25億円で対前期20.8億円増益の見込み。

(億円)

| | 50期 実績 | 51期 予想 | 対前期 増減額 | 増減率 |
|-----------|-----------|--------------|------------|---------|
| 売上高 | 320.0 | 350.0 | +30.0 | +9.3% |
| 営業利益 | 4.2 | 25.0 | +20.8 | +500.6% |
| 経常利益 | 10.2 | 22.0 | +10.8 | +117.6% |
| 当期 純利益 | 3.9 | 15.5 | +11.6 | +289.1% |

2024年6月14日公表から、変更はありません。

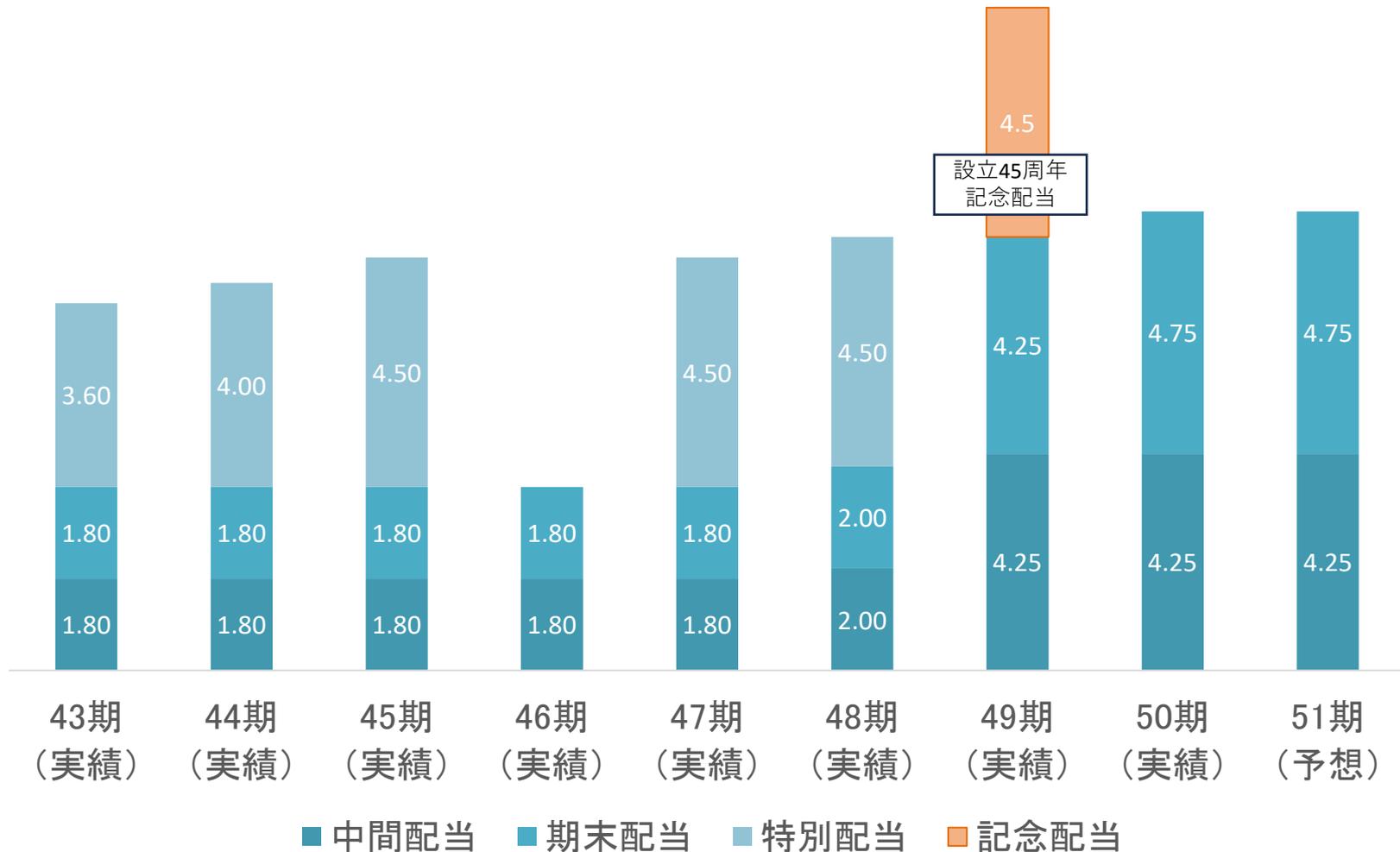
今期の配当予想は、1株当たり9.00円を見込んでいます。
なお、最終的な金額は、通期の業績等を鑑みて決定する方針です。

(円／1株当たり)

| | 51期 予想 | 50期 実績 |
|---------|-----------|-----------|
| 中間配当 | 4.25 | 4.25 |
| 期末配当 | 4.75 | 4.75 |
| 年間普通配当計 | 9.00 | 9.00 |

➤配当に関する基本方針

当社は、每期安定的・継続的な配当を原則とし、最終的な金額は、通期の業績等を鑑みて決定する方針です。



(注) 上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。